

潜在性結核感染症診療に関する患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度、国立病院機構東京医療センター薬剤部を責任機関とした「潜在性結核感染症治療による副作用発現調査とリスク因子の検討」を行うことになりました。

この研究は、潜在性結核感染症（以下、LTBI）診療による副作用の一つである肝機能障害の発現リスク因子について検討し、今後の LTBI 感染症診療に役立てることを目的としています。

この研究のため、2018年1月1日から2024年12月31日までに治療を開始した方について、2025年5月31日までの期間の診療録、検査データ等の調査を行います。対象となるのは LTBI 診療目的で治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（身長、体重、主病名、処方歴、副作用、検査値など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、個人を特定できないよう加工後、本研究の代表であります国立病院機構東京医療センター薬剤部に電子的配信で送付され厳重に管理されます。本研究における他の参加施設情報については別紙をご覧ください。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2025年7月

研究責任者

国立病院機構 東京医療センター 薬剤部

上田 真也

連絡先 03-3411-0111(代表)

※東京医療センターの患者さんは研究対象に含まれません。

各共同施設の責任者

国立病院機構 東京病院 薬剤部 田沼 健太郎

国立病院機構 茨城東病院 薬剤部 成田 和希

国立病院機構 東名古屋病院 薬剤部 地田 凌

国立病院機構 三重中央医療研究センター 薬剤部 東 拓馬